

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ステップきっず		
○保護者評価実施期間	2024年7月11日		～ 2024年8月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2024年6月18日		～ 2024年7月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2024年9月18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	障がいの重さや疾患にかかわらず、一人一人の子どもの尊厳を大切に、丁寧に関わっている。	個別支援計画をもとに、個別に月のねらい(月案)を作成し、日々の記録や所内での共有をおこなっている。 日々の保育や子どもへの接し方などで、心配なことや違和感を感じたことはすぐに話し合い、更新する様になっている。	半年に一度のモニタリングの時期だけでなく、個別のケース会議の時間をつくり、日々の取り組みを共有し継続できるようにしていく。
2	必要な医療的ケアをしつつも、遊びの時間を優先し、大切にしている。	1対1で保育をおこなう体制を整え、その日の子どもの体調に合わせて遊びの内容を変えている。 常勤職員は全員3号研修を受講しており、吸引や注入などの医療的ケアのために遊びが途中で途切れないうよう、配慮している。	非常勤職員も積極的に3号研修を受講する。 疾患や医療的ケアだけでなく、子どもの発達や障害特性についての理解を一層深めるため、研修会に参加したり、所内で勉強会をおこなったりする。
3	子どもたちの活動の記録・成長記録の写真や動画をたくさん残すことができ、保育ドキュメンテーションとして使用することができている。	写真や動画を撮るときは、どのような状況で何をどのように行っている場面なのかわかるように職員も含め、全体を記録に残すようにしている。 撮影した写真は、職員間の保育の振り返りや毎月のおたよりに掲載し保護者・関係機関へ共有、就学予定の学校等の関係機関への情報提供に使用している。 こどもたちの様子を言葉や文字だけでなく視覚的に伝えることを意識している。	現在毎月のおたよりに1人1～2枚程の写真を掲載するのみにとどまっているため、更にわかりやすく様子を伝えられるように活動記録の写真や動画を保護者に共有する方法を検討していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流ができていない。	感染予防のため、実施できていなかった。	外来医師等と連携し、地域の感染状況を確認しながら、密になりにくい場所(屋外等)での交流を再開する。 地域の人たちと交流することで、災害時、お互いに助け合うためのつながりを作ることができると思う。
2	子どもの体調を心配して慎重になりすぎてしまい、活動の幅が狭まってしまう。	医療的ケアが多い子どもが多く通っているため、急変やけが、事故、感染等を恐れて新しい遊びや外出、イベントに挑戦できないことが多い。	挑戦してみたいこと、実際におこなうにあたり心配なことを挙げ、所内で検討した上で、嘱託医に相談するなど、嘱託医に相談しやすい環境を活用していく。
3	保護者同士が連携出来る機会が少ない。また、保護者とは、送迎時のやりとりが多いためなかなかゆっくり話す機会がとれていない。	送迎付きの母子分離通園なので、保護者が施設に来る機会がなかなかないため保護者同士の連携や相談のタイミングが難しくなっている。	保護者の保育参加のイベントを増やす。 保護者だけが集まることができるイベントも再考し実施していく。

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和6年9月18日

事業所名 ステップきっず

チェック項目		はい	いいえ	無記入	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	4		・配置を工夫して使用できている。 ・5人入室となると部屋が狭く1人別室になってしまう。(2名) ・子どもの人数が多いと狭い。 ・トイレが狭く暑い。 ・相談室は適していない。 ・2Fなので、子どもをだっこして登り降りの危険がある。	スペースと利用定員の関係は、規定通りで適切ですが、感染予防のため引き続き活動室内を4名定員とし、適宜別室を利用しています。今後は、感染の流行の状況を確認しながら、配置を工夫して活動室内に5名集まる時間も設けていきたいと思っています。
	② 職員の配置数は適切である	13 (概ねはい1名含む)			・十分確保されている。 ・仕方のないことだが、日によって厳しい状況の日がある。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	8		・階段があるためバリアフリーとは言えないが、布担架などを使用してできるだけ安全に出来る工夫をしている。 ・階段を抱っこで上がらなくてはならず危険。また外来待合室を通過しなくてはならない。 ・2階であることのデメリットはたくさんある。 ・保育室が1階の方が望ましい。 ・階段の上り下りがやはり大変。 ・本人用バギーなどを上げるときも一時間かかるので人手がとられる。 ・階段はバリアフリーではない。	入室時必ず階段を使用する必要があるため、児の身体の大きさや特性に合わせて職員の配置などを工夫しています。移動時に危ないと感じる時には、必ず2名体制にし、サポートできるようにしています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11	2		・普段から清潔心地よさを心がけている。 ・常に清潔を心掛けている。 ・たまに子どもの頭上にもものが置いてあることがあるので注意が必要。 ・マットが汚れているのが気になる。	月例ミーティングで危険箇所をピックアップして改善するなど、環境の整備に努めています。汚れが気になるところは速やかに改善します。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	10	1	2		
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	13			・年1回行っている。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	13			・年1回行っている。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	4	3	・把握していない。	中途入職者に、第三者による外部評価についての説明ができていなかったため、今回周知しました。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13			・医師、看護師による研修の機会が設けられている。 ・月一回研修を行っている。(2名) ・毎月勉強会があり充実している。参加できなくても資料がありわかりやすい。	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	13				
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	3	2	・把握していない。 ・標準がわからない。	独自のアンケート用紙や月案報告書用紙を標準化ツールとして使用しています。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	13				
⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	13					

	チェック項目	はい	いいえ	無記入	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
14	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	3		・季節に合わせて工夫している。 ・個人でプログラムの立案を行っているように思う。	これまでは日々の記録をもとに正職員でプログラムの立案を行ってまいりました。今後は職員研修の機会を利用し、チームで話し合う時間も積極的に設けていきたいと考えています。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	13			・季節に合わせて工夫している。 ・記録をよんでかたよらないようにしている。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	13				
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	4		・前日にしている。 ・時差出勤の職員がいるため難しいがLINEワークスなどを利用して情報を共有している。 ・出勤時間がまちまちなので打ち合わせの時間をもつのが難しい。 ・送迎があり全員が揃うことが難しい。 ・日報をみて確認している。	正職員は随時共有していますが送迎や時短勤務によりミーティングに参加できないスタッフには、LINEワークスや申し送りノート、月案で共有しています。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	12	1		・その日の気付き等について話し合いが持たれている。 ・振り返りに参加できていない。 LINEワークス等でヒヤリなどは、共有できていると思う。 ・療育の振り返りがなかなかできていない。	
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	13				
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	13				
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	12		1	・把握していない。	案内があったものについては、最低1名は参加していますので、継続します。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	13			・支援員等見学を受け入れている。	

		チェック項目	はい	いいえ	無記入	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	13				
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	13			・主治医と連絡を取り合っている。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	13				
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	13			・教員の見学の受け入れや、当施設からの申し送り文書の作成を行っている。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11	1	1	・把握していない。	中途入職者に関係機関との連携の目的や実施内容を共有できていなかったため今回周知しました。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	8		・地域で行われている行事を知り、積極的に参加し交流できるよう考えていきたい。 ・なかなか交流の場がもてていない。 ・以前は行っていたが現在ではできていない。 ・機会をつくっていきたい。	感染予防のため大規模にはできておりませんが、小中学生に遊びのボランティアをお願いして来てもらうなど、小規模の交流を行っております。今年度は、感染状況を確認しながら、近隣保育園の園庭開放などに参加していきたいと考えています。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	10	1	2	自立支援協議会児童専門部会の委員として積極的に取り組んでいる。	案内があったものについては、最低1名は参加していますので、継続します。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	13			・必要に応じ、電話やお手紙でのやりとりをしている。	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8	4	1	・わからない。 ・プログラムという形では行っていないが、利用児の成長発達に合わせて家での遊具の選び方遊び方などについての助言ができています。	保護者に対して家庭支援プログラムとして関わってはいませんが、児の入室時に楽しめた遊びや好きな絵本、光や音への反応や興味がどうだったかなどを伝えることで家族と共有できるようにしています。今年度は災害対策に関して、家庭状況の確認や災害用伝言ダイヤル体験の実施などを予定しております。
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	13				
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	13				
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	12	1		・相談しやすい関係性を作るようにしている。 ・相談には適切に応じているが、定期的には行っていない。保護者から声がかげづらいつてもあるので、こちらから声かけも必要。	利用時の様子を見て必要時に声をかけ対応しているため敢えて定期的と期間を決めて声かけは行っていませんが、いつ相談したら良いかタイミングがわからない方もいらっしゃるのので、とり決めて実施します。

チェック項目		はい	いいえ	無記入	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	13			・年3～4回、ママ会を企画している。親子参加型のイベントも行っている。 ・ママ会への参加人数が少ないのが課題。子どものお預かりや日程選びなど工夫が必要。 ・ママ会を開催している。 ・遠足やママ会が行われている。	送迎有りの母子分離の通園で、保護者同士が交わる機会が少ないのでママ会を実施しています。昨年度までは部屋の都合で木曜日の開催になっておりましたが、今年度は土曜日にも実施しました。合わせて「父の会」や保護者会の開催も検討し、交流いただける機会を作っていきたいと思っております。
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	13				
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	13				
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	13			・より気をつけていきたい。 ・個人ファイルの整理を行った。 ・プライバシー情報についても特に配慮している。	中途入職者にも、個人情報の取り扱いについて共有し、事業所全体で十分注意しています。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	13				
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9	4		・コロナ以前はしていたが、今はできていない。	
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	13			・月1で行っている。(避難訓練)	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13			・毎月訓練を行っている。	月に1回の避難訓練を継続して参ります。今年度は災害対策に関して、家庭状況の確認や災害用伝言ダイヤル体験の実施などを予定しております。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	12		1	・周知されている。	看護職員が事前にお子さんの状況を確認した上で、療育担当職員向けにイラストを交えた資料を作成し共有しています。中途入職者で一部周知されていなかったため周知しました。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	13			・看護師がその都度確認している。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13			・事業所内だけでなく法人全体でも共有している。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	13			・年1回必ず行っている。その他、毎月のミーティングでも議題に挙げている。匿名の意見BOXを設置し、意見を出しやすいようにしている。	都や市で開催される研修会にも最低1名の職員が参加し、他の職員に内容を共有しています。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	12		1		基本的に身体拘束はありませんが、階段移動時などの安全上必要時は、保護者へ説明し、了承を得た上で行っています。行う必要がある場合には、個別支援計画に盛り込み記録を残すことにしています。

○その他お気づきの点やご意見ご要望がございましたら何でも結構ですご記入ください

定期的に療育スタッフの勉強会の場を設けていただいたり、不定期ではあるが医師による研修会や看護師による緊急時対応シミュレーションの機会を設けていただいたりして、学ば場を設けていただけることにとても感謝している。

保育のお部屋に行くまで抱っこで階段を使わなければならないのがとても危険。一度お部屋に上がってからだと散歩に行くのに躊躇してしまう。すくすく⇄もりもりへの通路の段差とベビーベッドが置いてあるため狭いところがある。2階に上がってからのドア（間口）が狭い。背中にリュックを背負い子どもを抱いて入るのがギリギリな感じ。

預かりが5人の時、相談室使用は感染対策上、致し方ないが集団で遊べる時間を増やすなど工夫できないか。そろそろ口腔ケアできないか？（必要な子ども）他の施設では歯磨きをしてもらっていると言われることがある。

子どものことや療育について療育スタッフ同士で話し合う時間があれば良いと思う。

どんだん外に出て活動していきたい。いろいろな事に挑戦していきたい。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。